

# 川崎競馬倶楽部

15th ANNIVERSARY

http://www.kawasakikeiba.com

since1990

〒212-0002 川崎市幸区小向仲野町15-4 川崎競馬倶楽部

2006年5月号

## ロッキーアピール かきつばた記念優勝

またしても交流重賞制覇という快挙を成し遂げたロッキーアピール。名古屋コース1400mをまんまと逃げ切った。高々と拳がる山崎誠士ジョッキーのガッツポーズ。初重賞制覇の瞬間だった。

「二番手位でペースでも早くなってくればと考えていたが相手が後手を踏んで逃げるかたちになった。4コーナーでプリサイスの手応えが楽に見えたので直線が短い分2着あるかと思ったくらい。オーナーもビックリしてましたよ」と山崎尋美調教師。

9歳の古豪ロッキーアピール。ディーブインパクトの活躍、コートピアのドバイ電撃移籍と時を賑わす金子ブランド。中央から移籍後制したタイトルは交流重賞「さきたま杯」、アフター5スター賞そしてかきつばた記念と息の長い活躍を続ける。

「3年連続でしかも9歳になって交流重賞を勝つんだから大したもの。年齢と共に回復力は落ちているが、それでも張りもあるし毛づやがいい。カイバ食いが落ちることもない。レースを止めてしまう面がなくなって、ゲートでも前より良いくらい」と老いてなお盛ん。

「最近では追い切りでも動くようになってきてますね。内臓も強いし、普段から仕草が若々しい。“オヤジ”と呼んでいますが(笑)。輸送も平気だし、ふだんは物音にも動じない馬がこの日はパドックで珍しく寄り添ってきましたよ」と暮部清志厩務員。



写真提供：NAR

次なる目標はゲンのいい「さきたま杯」そしてその先には中央遠征プランが用意されているという。



ロッキーアピール	
父	Valid Appeal
母	Dame's Rocket
牡	9歳 鹿毛 1998年3月4日生
馬主	金子真人
調教師	山崎尋美
騎手	山崎誠士
厩務員	暮部清志
生産者	Mockingbird Farm



### 山崎誠士騎手初重賞制覇

「ゴールが近づくと後ろから聞こえる足音が恐くて恐くて。減速すると一気に止まる面があるのでゴール板まで勝ったという気にはなれませんでした。あのガッツポーズは嬉しさのあまり自然に出ていました。メンバーも強かったですし、レース前は勝てるかどうか半信半疑。あんまりうまく逃げることができては思っていなかった。だから、勝ったらどうアピールしようなんて考えてる余裕もなくて。考えてたらもっとカッコイイ事できたんですけど(笑)。親子で勝てたことは最高にウレシイし、重賞連覇も狙いたい。このところ足踏みしてたんでこれを弾みに今年後半追い上げます。」

### ジョッキー引退

#### 内田竹彦騎手 <659戦17勝>

内田勝義調教師の甥っ子という環境で育った内田竹彦騎手だが、その7年半の騎手生活はケガとの闘いだった。

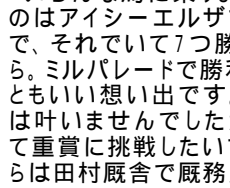
「山あり、谷あり...そんな騎手生活でしたね」とみずから振り返った。

落馬負傷による長期欠場は4回。そのうちレース中の怪我は1回だけで、調教中のアクシデントが多かった。

「最初は靭帯。そのあと骨折したんですが、それが完全に治りきれないうちに乗り始めてしまったので、また休む結果になってしまっ」と

勝負服を脱ぐまでには葛藤もあった。

「いろんな馬に乗りましたが一番印象深いのはアイシーエルザですね。可愛くて素直で、それでいて7つ勝たせてもらいましたから、ミルパレードで勝利インタビューされたこともいい思い出です。重賞に騎乗することは叶いませんでしたが、今度は厩務員として重賞に挑戦したいですね」。6月1日からは田村厩舎で厩務員をつとめる。



#### 久保勇騎手 <4552戦418勝>



「これだけたくさんの馬に乗せてもらえたら重賞も勝ったし悔いはないよ。」とさわやかな笑顔で語ってくれた。

この世界に入ったきっかけは元騎手である父と兄。「飼いや葉桶の中で生まれたんだ」と冗談が出るほど馬と一緒にすごした。

そして20年前に父、兄と同じ騎手となったがもともと骨太な体質で背も伸びてしまい、騎手となったと同時に減量との闘いも始まった。レースのあるときは喉が渇いても水を口に含むだけ、食事も一日おにぎりひとつだけだったという。

「よく20年も続いたなと思う」というがそれだけ馬への想いがあったからなのだろう。思い出のレースは兄の久保秀男調教師が開業し厩舎初のレース、イシノカサブランカで勝てたこと。思い出の馬はやはりエスプリフェザント。「初めて跨った時にこの馬は絶対走るって確信があって周りの人に言っちゃったくらい(笑)本当に走ったし。」

引退を考えたのは1年前。「体力的なこととけがの後遺症もあったんだけど調教師になりたいという夢もあったから」。今後は武井厩舎で調教師補佐を目指す。「武井先生が安心できる厩舎にしたい。そして自分で納得が出来たら調教師になりたい。今まで応援ありがとうございました。調教師の夢が叶ったらまた応援よろしくをお願いします」

### モエトレジャー園田へ移籍

5月10日モエトレジャー(牡5歳)が園田に向けて退厩しました。

足立厩舎所属として、しらさぎ賞、戸塚記念、埼玉新聞杯、浦和記念制覇と輝かしい成績をおさめました。

園田では曾和厩舎に所属し、園田所属としてさきたま杯参戦する予定もあるとのこと。新天地での活躍を期待するばかりです。

#### 足立調教師

「体力的な衰えではなく賞金の関係からこちらでは出走レースが限られてしまいこの馬のよい面を生かせないのでオーナーと相談し移籍となりました。」

#### 加藤厩務員

「今まで担当してきた馬の中で一番賢く手のかからない子でした。移籍先の園田でもう一花咲かせて欲しいです。そして園田代表として南関東に遠征してきて会える日を楽しみにしています。」



遠征の記録



写真協力：Oさん

5月7日の日曜日に盛岡競馬場で第32回 IAT 杯シアンモア記念(ダート1600m)が行われ、川崎からは山崎尋美厩舎所属のハツラツ(牡6歳、山崎誠士騎手)と内田勝義厩舎のシンブウオペラ(牡8歳、酒井忍騎手)の2頭が参戦した。レースは川崎勢2頭が果敢に先行したが、4番人気のハツラツが7着。シンブウオペラは9番人気で13着という結果に終わった。

勝ったのは3番人気の地元馬、エアウィード(村上忍騎手)だった。

ハツラツについて「メンバーを見てももう少しいい競馬が出来ると期待していましたが、行きっぷりがいつもより悪かった。あんなに手応えがよくないのは初めてです。輸送など目に見えない疲れがあったのかも。」と山崎騎手。

シンブウオペラも「馬場が軽いので前に行く競馬になった。その分末が甘くなってしまう。レース前に餌食い悪くなったのが影響したのかな?」(小竹厩務員談)



写真協力：Oさん

4月23日東京競馬(3歳500万下・芝1400)に出走したブラックキーラー(田島寿一厩舎)は内田博幸騎手を背に好位からレースを進めたものの直線失速13着。5月14日の新潟競馬第10Rゆきつばき賞(3歳500万下・芝1200)に駒を進めましたが最後方から16着だった。

中地雄一騎手 負傷

中地雄一ジョッキー(長谷川三郎厩舎)が15日の調教中に膝下を骨折する怪我を負い、全治2ヵ月と診断されました。

おつかれさま  
平成18年4月退厩馬

厩舎	馬名	性別	年齢	退厩先	理由
長谷茂	ロイヤルメロン	牝	3	神奈川県	乗馬
田島	シルバースペクター	牡	3	群馬県	乗馬
武井	ピリカラ	牡	3	群馬県	乗馬
武井	オニアシジョー	牡	4	群馬県	乗馬
山崎	ジャパングール	牡	4	群馬県	乗馬
中野	シルキープリオ	牝	4	福島県	乗馬
八木仁	エフケーアニカ	牝	5	北海道	繁殖馬
佐々吉	ダンシングナイト	牡	4	群馬県	乗馬
津久井	ヤシュウトルネード	牝	3	群馬県	乗馬
長谷蓮	ジョウジキング	牡	4	福島県	乗馬
長谷蓮	キョウエイパロン	牡	3	福島県	乗馬
八木喜	ドリームダイヤ	牝	5	北海道	繁殖馬
安池成	オルデナーダ	牝	4	栃木県	乗馬
池田孝	リュウノブライアン	牡	3	山梨県	乗馬
佐々吉	エンジェルボーイ	牡	6	神奈川県	厩用馬
八木仁	ゴールデンリジイム	牡	4	神奈川県	厩用馬
鬼沢	スプリングタイム	牡	4	栃木県	乗馬
長谷蓮	キンセイチャージル	牡	4	東京都	厩馬
長谷茂	ロイヤルアクセル	牡	3	群馬県	乗馬
長谷茂	ロイヤルブラザー	牡	3	群馬県	乗馬
山崎	ユーワビスケット	牡	4	茨城県	厩馬
佐々仁	トサノデンデン	牡	4	栃木県	乗馬
田邊	ピバブライアント	牡	3	栃木県	乗馬
山崎	ヤマニンランスタン	牡	4	岩手県	厩馬
足立	ブルーハンター	牝	3	茨城県	乗馬
中野	ミホ	牝	3	福島県	乗馬
大和五	ヤマノサイレンス	牡	5	群馬県	乗馬
長谷三	バンダル	牡	3	群馬県	乗馬
大和明	タマガワリリー	牝	5	福島県	乗馬
山崎	ウィステリア	牝	4	兵庫県	厩馬
佐々仁	サザンホーク	牡	5	東京都	乗馬
大和五	エクシオパワー	牡	6	福島県	乗馬
内田勝	グランドヒート	牝	4	北海道	繁殖馬
田島	シゲルフウウン	牡	5	群馬県	乗馬
内田勝	ドリームレコード	牝	3	栃木県	乗馬
河津裕	エイシンカレン	牝	4	愛知県	厩馬
今井輝	カミタカジョー	牡	4	茨城県	厩馬
内田勝	アイメイク	牝	4	栃木県	乗馬

HAPPY BIRTHDAY 5月生まれ

- |              |              |                |
|--------------|--------------|----------------|
| 鈴木章友厩務員(3日)  | 森下博騎手(4日)    | 井上啓厩務員(6日)     |
| 今井輝和調教師(7日)  | 鬼沢裕充調教師(9日)  | 相沢新七調教師補佐(10日) |
| 松木秀典厩務員(10日) | 青田圭厩務員(13日)  | 吉橋淳一調教師補佐(15日) |
| 甲田悟史厩務員(15日) | 千葉松男厩務員(15日) | 津田法人厩務員(17日)   |
| 栃木涼厩務員(17日)  | 矢管清志厩務員(17日) | 福島幸三郎調教師(18日)  |
| 新美哲孝厩務員(19日) | 高木伸二厩務員(20日) | 高橋薫厩務員(20日)    |
| 松井孝一厩務員(23日) | 島川和章厩務員(24日) | 内山義信厩務員(25日)   |
| 遠藤喜宏(25日)    | 乙川正樹厩務員(28日) | 藤田隆幸厩務員(29日)   |

森下 博 騎手 <長谷川茂厩舎>



5月4日で51歳になった森下博騎手。痛みの中で迎える生憎のバースデー。4月28日の浦和競馬では全身打撲という落馬に見舞われた。「こないだの浦和は調子よかったんで悔しくてしょうがないよ」と好事魔多し。落馬当日より時間が経つにつれ痛みが出てきたと、手首、足首、肘とテーピングでガッチリ固めた満身創痍。肋骨も痛めた。「肋骨の一本くらいじゃ、騎手は休めないよ」とさっそく森下節も飛び出した。

クインミツルで初騎乗初勝利を決めた日から33年が過ぎた。的場文男騎手、石崎隆之騎手、山崎尋美現調教師と同じ昭和48年秋デビュー。教養センターで語り草になっているほどその華やかな同期の中でも一人抜けた騎乗センスで光っていたという。

「師匠の井上先生は厳しかったが情のある人で、たくさんのことを教わった。兄弟デシが居並ぶ中でチャンスを与えてくれたなあ。人に頭を下げるのが嫌で、自分の腕を信じてここまで来た。今は兄デシの元に身を置くのが気持ちではわかり合えてると思ってるから」と井上一門の絆の深さが伝わってきた。

「騎手ひと筋だな・調教師を目指す気はない」とキツパリ言った。「ムチを置いたあとはな、やりたいことがあるんだ。なんだと思う? 自給自足で畑をやってみたい。カアちゃんと二人でのんびりとね」と第二の人生プランも飛び出したが、実家は農家。まんざら実現不能なプランではない。

しかしながら森下騎手の天性の騎乗センスに惚れ込むファンは多い。エスプリシーズンとのコンビは記憶に新しいところ。ムチを置いたらなどと言わずに「生涯現役」で魅せてほしいものである。

さて、この紙面が出た頃には結果が出ているだろうが、森下騎手に「第1回ヴィクトリアマイル」への騎乗依頼が舞い込んだ。

「中央のGなんて光栄だね。マイネサマンサはルメール騎手が乗ったときに折り合い欠いていたし、マイルでこの枠なら仕掛けて行ってみるかな」と逃げ宣言。大舞台に強い森下騎手の本領発揮に期待は膨らむ。

ガンバレ栗林さん!



山崎厩舎の栗林信文厩務員が5月28日長崎で行われるアイアンマントライアスロンに挑戦! 泳ぎ3.8km、自転車180.2km、そのあとフルマラソン42.2km!! 過酷な鉄人レースに挑みます。

前には川崎競馬のロゴ、後ろには担当馬ズノーズノーをプリントしてアピール。すでに前哨戦では好タイムで完走した実績を積んでいます。

\* staff room \*

森下ジョッキー、宣言通り果敢に先行しました。結果はともかく中央Gで逃げる姿が誇らしくてたまりませんでした。51歳とはいえ騎乗ぶりに衰えなし!! 職人ジョッキーとしてこれからも暴れまくってほしいと改めて思いました。山崎誠士ジョッキーの初重賞制覇も嬉しかった。デビューから約3年。「俺だって初重賞まで5年かかったのに」と山崎尋美調教師にからかわられていました。この親子鷹の飛躍からも目が離せませんね。一方で、季節柄とはいえ今号でもまたジョッキー引退のニュース。「競馬の華」であるはずのジョッキーたちの置かれた厳しい現実を考えると胸が痛みます。ガンバレ! 川崎ジョッキーズ!!

あ

春は寒暖の差が激しいですが今年は特にそう感じますよね。体調管理が大変です。これは馬も同じでお腹の調子が悪くなったり熱発したりしやすいのだそうです。「よく食べてよく運動してよく寝る。」を心がけて私も馬たちに負けずがんばりたいと思います。まあ、よく食べてよく寝るは出来てるのであとは運動しないと(^^)

楓

久しぶりの取材の日は雨。天気予報では午前中は大丈夫そうだったのに、途中からは見事なくらいの土砂降り。最近出掛けるとやたら雨に降られてしまいます。これって雨女!? それでも今まで厩舎では降られた事がなかったのに...。色んな人から「すごい雨だね」と声を掛けられるたび胸にズキン。挨拶なのはもちろんなのですが、心の中で謝ってしまいました。今度ではてる坊主を持って行こうかな。

とら